

栗東市立治田西小学校 学校だより

令和7年12月23日

かけはし

NO. 14

児童数 476名

〈学校教育目標〉 仲間とともに 全力で学び、活動する治西っ子の育成

- (は) はきはき話し、こつこつ学ぶ子 (る) ルールを守り、元気にあいさつする子
(い) にこにこ笑顔で、仲良く活動する子 (し) しんじ合い、互いに助け合う子

実り多き後期前半を終え、明日から冬休みです。運動会に向けて練習し、努力すること、協力する大切さを学んだり、校外学習で自然の美しさ、たくましさを改めて実感したり、専門家や施設での体験から学びを深めたりしました。校外学習の事前指導から事後のまとめまでを通して、しっかりと目標を決めてみんなで取組み、達成する経験こそ、学校教育の醍醐味であると強く感じました。行事が盛りだくさんの中で子どもたちは「考え、チャレンジし、多くの人々とつながり合う」貴重な体験をし、更に成長することができました。学習面でも、一人ひとりが目標に向かって努力し、仲間と協力する姿が輝いていました。冬休みは、心と体を休める大切な時間です。安全に気をつけ、家族との時間や読書などで豊かなひとときを過ごしてください。新しい年も、子どもたちが笑顔で登校できる学校づくりを進めてまいります。令和8年（2026年）も笑顔の治西っ子に会えることを楽しみにしています。どうぞよいお年をお迎えください。

広島・宮島の旅 6年修学旅行

11月27日・28日



6年生は1泊2日で修学旅行に行ってきました。1日目は平和記念公園や平和記念資料館で「平和学習」をしました。資料館見学や語り部さんの講話から教室で積み上げてきた学びを深めました。公園ではボランティアガイドさんからたくさんのお話を聞きました。原爆ドームを目の当たりにし、資料館での数々の展示物を見て、原爆や戦争のむごさや悲惨さ、平和の尊さを感じました。2日目は厳島神社を見学したり、お土産を買ったりしました。そして、広島市に戻り、駅前ビルのお好み物語という店舗群でお好み焼きを昼食としていただきました。学校で身につけてきた時間を守ったり、班の仲間と協力したりする集団で行動する力もしっかりと発揮することができました。この2日間の豊かな学習が宝として、これからの中学校生活に活きることを強く願います。



深まる秋を感じながら 校外学習

5年 ダイフク 琵琶湖博物館

12月5日に日野のダイフク工場と琵琶湖博物館へ行きました。ダイフク工場では、物流システムの機器が生産されている様子を見学しました。琵琶湖博物館では、琵琶湖の自然や歴史について学びました。



あおぞら学級 京都水族館

12月11日に、電車で京都水族館へ行きました。草津駅の券売機で一人ずつ切符を買い、電車に乗りました。京都水族館では、かわいい生き物にたくさん出会いました。イルカショーに大興奮でした。



2年 京都鉄道博物館

12月16日に、電車で京都鉄道博物館に行きました。いろいろな電車の展示を見ました。迫力あるジオラマに大歓声でした。梅小路公園では、友だちと一緒に遊具でいっぱい遊びました。



先月に引き続き、子どもたちは、実物を自分の目で見て、耳で聴いて、そこで関わっている人と話して、そして心で感じることで教室では学ぶことができないことをたくさん学習することができました。お弁当の準備等ご協力ありがとうございました。

人権学習とは、様々な人権問題や差別を受けている人たちの生き方に学びながら、自分自身や自分とまわりの人との関わりについて「見つめ直す」学習です。また、自分を大切にし、互いのよさやちがいを認め合いながら、人とつながることの大切さやすばらしさについて学び、自分のこれから生き方を考えていく学習でもあります。12月10日の「世界人権デー」に合わせて、本年度は、11月25日から12月13日までを「校内人権週間」に設定しました。

【人権週間中の取組】

- ①各学級の取組 スマイル宣言づくり
- ②人権啓発作品づくり 作文・ポスター・標語・詩・マンガ等
- ③人権集会 12月10日(火)②に予定していましたが、風邪症状の児童も多く1月に延期 スマイル宣言、人権作品、委員会の発表等の予定



この人権週間を通して、「人権」の意味(みんなが幸せに生きる権利)を知ること、相手の立場に立って考え、人に対して思いやりの心と言葉で接する態度や、身の回りの差別に気づき、差別を許さない、差別をなくしていくこうとする態度を育てていきます。

道徳科って どんな学習をするの？

辞書等で検索すると、「人が善悪をわきまえて正しい行動をするために、守らなければならないもの」などと出てきます。簡単に言うと、「善いことを行い、悪いことをしない」「きまりを守って、よりよく生きる」ということです。これらの活動を道徳科の学習を中心に、教育活動全般を通して行うのが道徳教育です。

年間35回の道徳科の学習の他に、日常接する担任や教職員などの大人との会話や振る舞い、また児童同士の交流を通して、道徳性を育んでいきます。そして道徳性を22の観点(内容項目)から考えます。道徳性は一朝一夕に身に付くものではありませんし、正解があるものでもありません。子どもたちの道徳性を育むために、今後も地道に人間としての在り方を自覚し、人生をよりよく生きるために、その基盤となる道徳性を育成していきます。

3年



1年



道徳科では、子ども達の道徳的な実践の「芽」である道徳性を養っていきます。日々、認め、励まし、褒めていきたいです。

「たからさがし」という教材を通して、自分が正しいと判断したことに自信をもって行うことについて考えました。タブレットPCの心のメーターで善悪の気持ちの強さを表しました。「友達の考えに流されずに、相手の思いをよく考えて行動することは大切な。」など、分ならどうするか話し合いました。

「ルンルンルン」という教材を通して、家族のために自分ができることを進んで手伝うことで、家族の一人として役に立つ喜びに気づき、自分も家族の役に立とうとする心情を育む学習をしました。自分が家でしている仕事を話し合い、自分の生活と結び付けて考えました。

総合的な学習の時間 探究的に学ぶ治西っ子

総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目標にしていることから、これから時代においてますます重要な役割を果たすものです。

探究的な学習とするために ①【課題の設定】体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ ②【情報の収集】必要な情報を取り出したり収集したりする ③【整理・分析】収集した情報を、整理したり分析したりして思考する ④【まとめ・表現】気付きや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現するといった学びをしていきます。

5年



3年



5年生は、社会科の学びから地域の川に着目し、方面ごとに分かれて、川の調査に出かけました。川にいる生き物や生息する植物、水質調査を行いました。グループごとに調査したことまとめ、ほかのグループと交流しました。集めた情報を整理し・分析する上で、クラゲチャートなどの思考ツールを活用しました。身近な川の環境を守るためにできることはどんなことがあるのか、子どもたちの学習が続いていきます。1月にはフローティングスクールを控えています。水環境に焦点化した環境学習に取り組んでいます。

3年生は、「みんなが幸せに生きるために、自分たちにできることは何だろう」という学習課題をもち、福祉学習に取り組んでいます。車いす体験をしたり、盲導犬とともに生活されている方の話を聞いたり、パラスポーツで活躍されている方の話を聞いたりしました。熱心にメモを取って話を聞いたり、疑問に思ったことをインタビューしたり、主体的に学ぶ姿が見られました。誰もが安心して過ごせる社会の大切さについて、引き続き学びを深めています。



《主な学校行事予定》

日	月	火	水	木	金	土
				1 元旦 学校閉庁	2 学校閉庁	3 学校閉庁
4	5 冬季休業終了	6 冬季休業終了	7 全校3校時	8 全校3校時	9 給食開始 委員会 4年5校時	10
11 成人の日	12	13	14 のびのび広場 避難訓練 人権集会④	15 3年校外学習 (AMひだまりの家・PM歴史民俗博物館)	16 避難訓練予備日 4年校外学習 (AMひだまりの家)	17
18	19 5年1組・2組フローティングスクール	20 5年1組・2組フローティングスクール	21 5年3組フローティングスクール・ココロの健診日 AM	22 5年3組フローティングスクール	23 5年生5校時 栗東市青少年美術展覧会	24 栗東市青少年美術展覧会
25 栗東市青少年美術展覧会	26 委員会 4年5校時 口座振替日	27 全校防災教室 AM	28 はるにし集会	29 入学説明会	30 学習参観② 学校保健委員会 ③	31



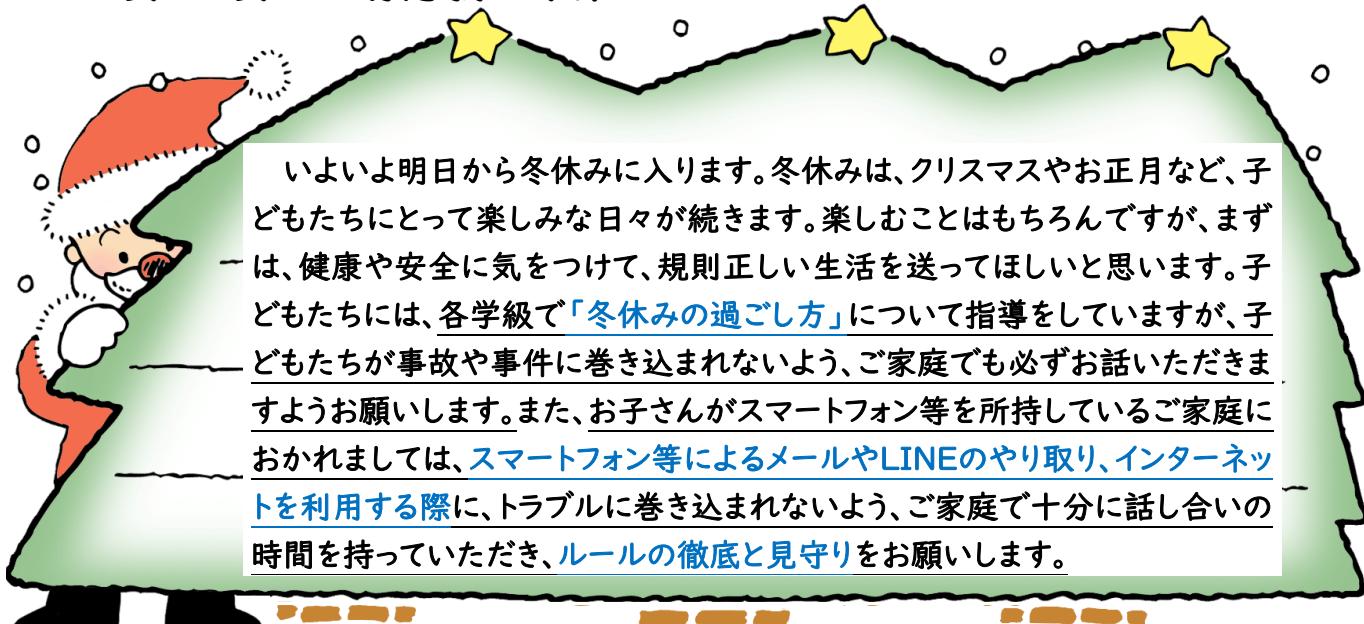
12月17日（低学年）・18日（中学年）・19日（高学年）の長休みに親子読書・読書くじの貸し出しを行いました。「どの本にしようかな」と保護者と相談しながら本を選んでいる姿がほほえましかったです。読書に親しむ機会になればと、図書ボランティアの方が企画・運営してくださいました。ありがとうございました。

また、図書委員会のイベントで読書くじのイベントがありました。ふだんあまり読書をしない子どもも図書室へ行くきっかけになったようです。

230	15	251
260	239	78
21	212	172
257	32	99

読書をすると、感動したりワクワクしたり、本の数だけ世界が広がる出会いがあります。寒い冬は家でゆっくり過ごしたくなります。そんな時は、お子さんやご家族と一緒に、読んだ本の感想を語り合うなど、読書を楽しむ時間を作つてみてはいかがでしょう。

安心・安全で有意義な冬休みを！



イラストは出町書房より